

[防除対策]

夜温が高いと活動が盛んになり，果樹園へ飛来するので注意する。果樹園内でカメムシ類を確認した場合には，収穫前日数に十分注意して，活動が鈍い早朝に薬剤防除を行う。

同一系統の薬剤は，連用しない。

薬剤を散布する場合は，農薬のラベルに書いてある農薬の使用基準を遵守するとともに，周囲に飛散（ドリフト）しないよう十分注意する。

表 果樹のカメムシ類に対する主な農薬と作物ごとの使用時期（収穫前日数）（平成22年8月10日現在）

系統名	作物名			
	薬剤名	リンゴ	カキ	ナシ
ネオニコチノイド	アルバリン顆粒水溶剤 スタークル顆粒水溶剤	前日まで	前日まで	前日まで
	アクタラ顆粒水溶剤	7日前まで	3日前まで	前日まで
	ダントツ水溶剤	前日まで	7日前まで	前日まで
	パリアード顆粒水和剤	前日まで		
合成ピレスロイド	アグロスリン水和剤		前日まで	前日まで
	テルスターフロアブル	前日まで	3日前まで	前日まで
	ロディー水和剤		7日前まで	前日まで
有機ケイ素	MR.ジョーカー水和剤	14日前まで	14日前まで	14日前まで

農薬を使用する際は，農薬ラベルに記載の使用方法，注意事項等を確認のうえ使用してください。

ツヤアオカメムシについて

成虫は体長 14-17mm。形態はアオクサカメムシと似るが，本虫は体全体に艶を帯びている。

チャパネアオカメムシやクサギカメムシと同様，カキなどの果樹を吸汁加害する。

近年，予察灯（かすみがうら市）への本虫の誘殺数は増加傾向にある。